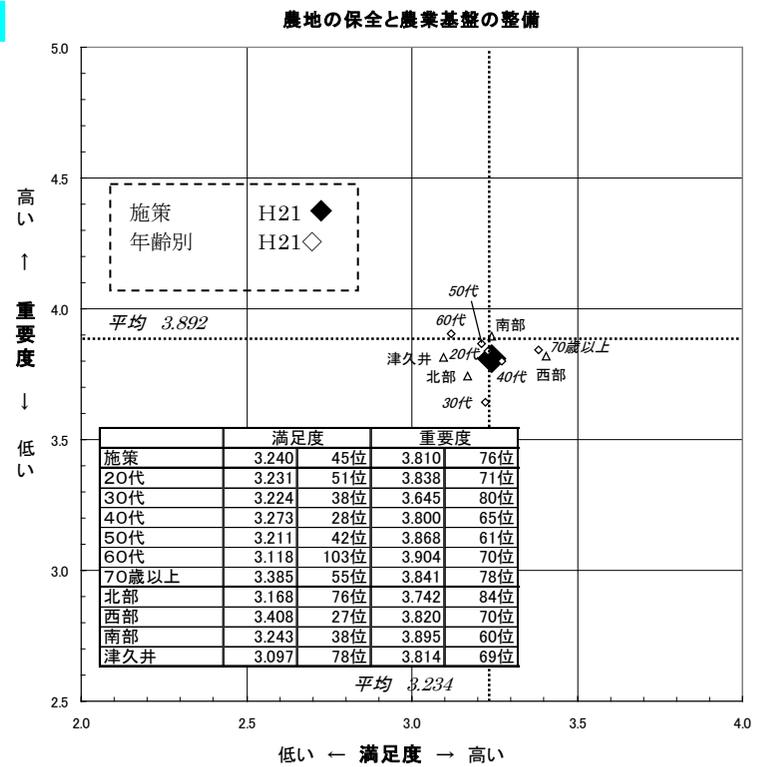


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.24で全119施策の中で45番目。
- 重要度は3.81で76番目である。
- 改善要望度は-0.062で76番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	※「農地の保全」という視点を取り入れ、新たに設定した指標「農用地区域内における耕作地面積の割合」に基づき、有効性・効率性を評価した。
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 (2) 1	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 (2) 1	4 2 (1)	
合計		6		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	農業従事者の高齢化や後継者不足により、農家人口や耕作地が減少し、農地の遊休化・荒廃化進んでいる。農道・水路の未整備箇所や、経年の使用による老朽化・劣化している箇所があるため、効率的な農作業に支障が生じている。
解決策	担い手の育成のための援農システム、認定農業者への利用権設定による農地の集積をさらに進めるとともに、農地違反転用の違反是正指導を行い農地の保全を図る。農道及び水路の計画的な整備・改修を行う。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向